

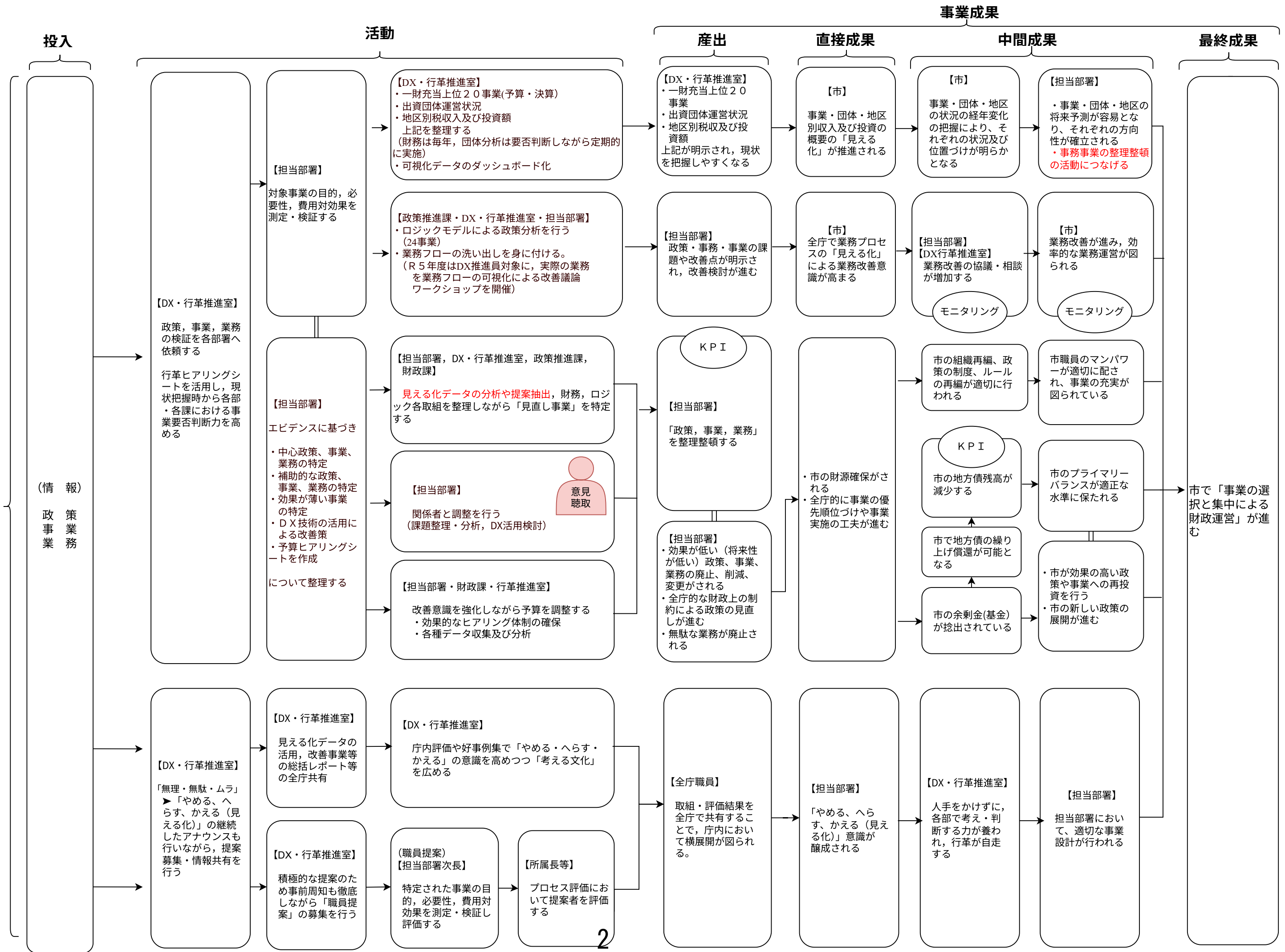
令和8年度

鹿嶋市 重点施策 ロジックモデル

【当初面談による実施】

政策企画部政策推進課

DX・行革推進室
政策の選択と集中



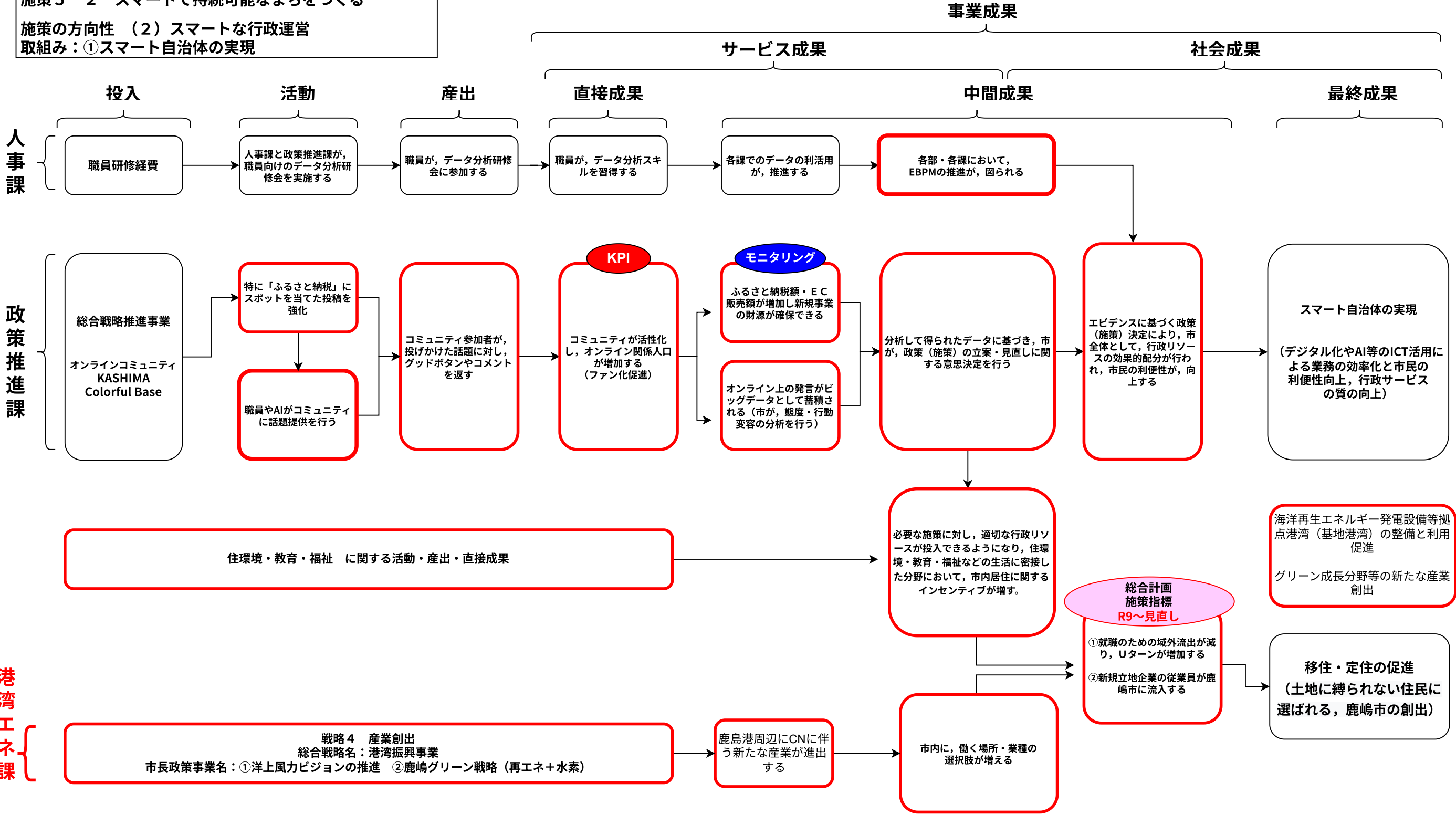
【総合計画】 人生100年を支える舞台を「鹿嶋」に整える スマート＆コンパクトな鹿嶋をつくる スマートで持続可能なまちをつくる	【市長政策】 無理・無駄・ムラ＝やめる・へらす・かえる（見える化）
---	---

指標				
現状値 → 目標値		2021年度末	2025年度 3月末	目標値
事業指標 (目標年度：2026年度)	地方債の残高	174.8億円	142.5億円	139.5億円
事業指標 (目標年度：2026年度)	事務事業の整理整頓	19事業（対象）	廃止 47事業 縮小 68事業 改善 54事業 継続検討 3事業 方針見直し 1事業	廃止 11事業 縮小 8事業
モニタリング指標	プロセスの見える化による 業務改善協議件数（A）	—	各所属協議 36件	—
モニタリング指標	Aのうち改善完了件数	—	27件	—

※事務事業の整理整頓：目標値を超えて見直しを行った場合は，実績値を積み上げていくこととする

施策1-2 多様なライフスタイルを応援する
施策の方向性 (2) 多様な働き方・暮らし方の実現
取組み: ①移住・定住の促進

施策5-2 スマートで持続可能なまちをつくる
施策の方向性 (2) スマートな行政運営
取組み: ①スマート自治体の実現



指標名	現状値 2021年度末	2022年度末	目標値 2026年度末	指標	測定手段
オンライン関係人口	5,000人	29,070人	50,000人	KPI	基準日における「KASHIMA Colorful Base」のコミュニティメンバー数を測定する
ColorfulBaseきっかけのふるさと納税	0件 0円	99件 1,580,303円	6,300,000円	モニタリング	ふるさとチョイスでの「ColorfulBaseきっかけ」ふるさと納税額を基準に、全てのプラットフォームの合計件数と金額を推計値として算出する (毎年1月~12月)
人口の社会増	△155人／年	△133人／年	2031年度 110人／年	総合計画 施策指標	基準日における社会増減を算定 ※人数のほかに増減率の推移を確認する

R8当初面談におけるロジック見直しのポイント

①R7末までの実績を踏まえた修正

- ・オンライン関係人口増と社会増の相関は見られない (可能性として、タイムラグや、「関係」の薄さはあるかもしれない)
- ・「関係人口」が「実人口」に至るまでの過程をロジック化する必要があるかもしれない (仮説)
- ・既存産業・新産業支援による人口増を目指すうえで、港湾エネルギー振興課作成のロジックモデルとの連携を位置づけ
- ・その他、市外の方が転入を決断するために必要となる行政サービス (福祉・教育など) のロジックが関係することを整理

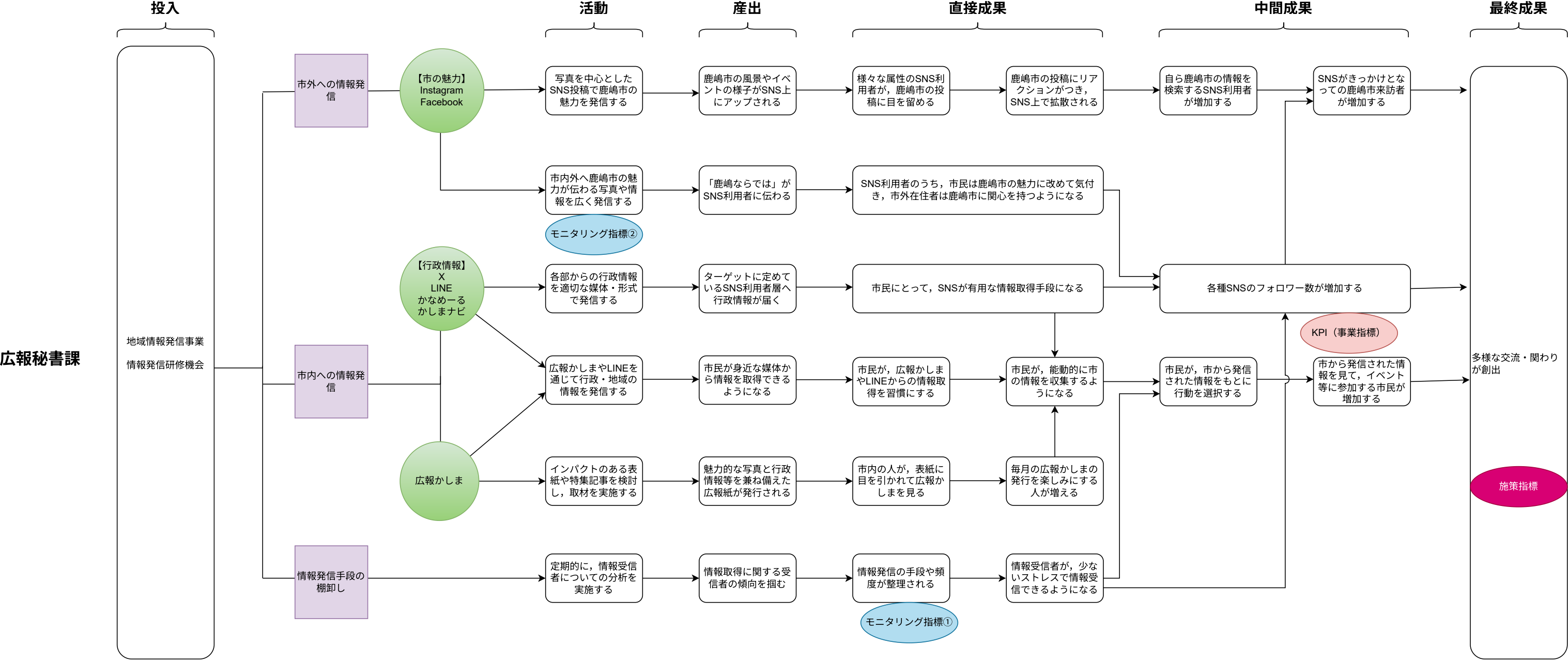
②R8の実態を踏まえた修正

- ・企業誘致補助金の「活動」「産出」を削除

③文言修正

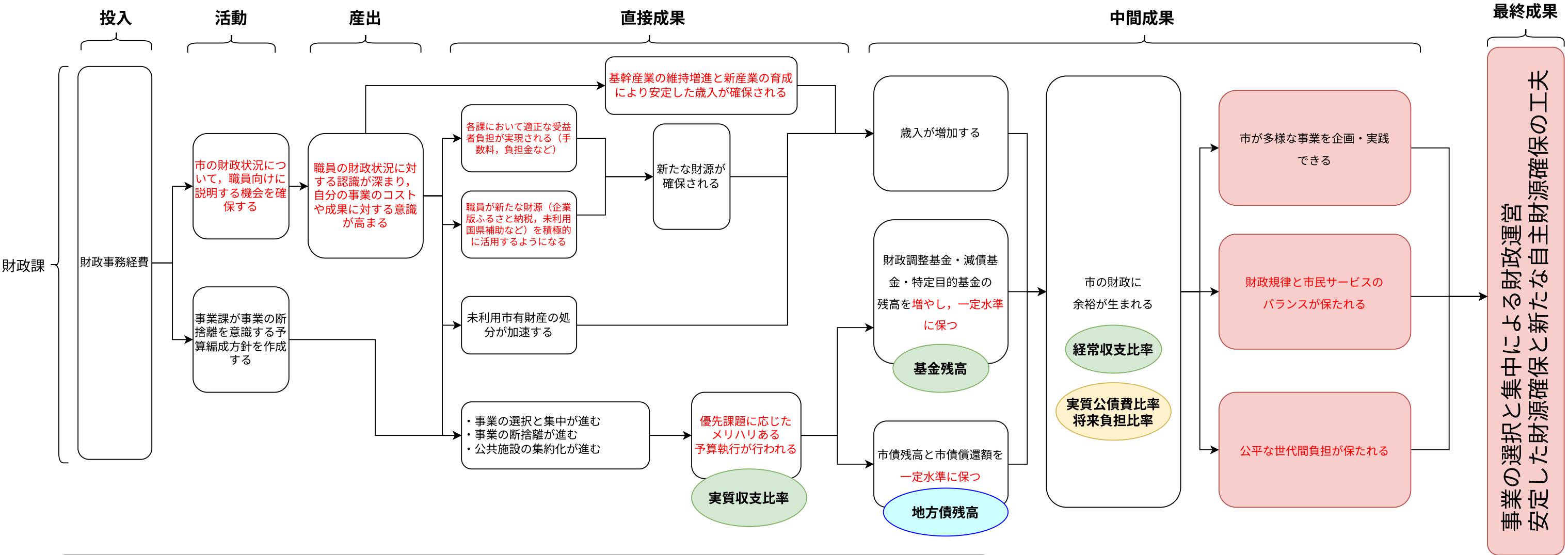
- ・「オンライン関係人口が増加する」を中間成果に位置づけていたが、同時に、「ファンコミュニティの参加者が増加する」が産出にも位置付けられており、重複していたため、整理した。

施策1－2 多様なライフスタイルを応援する
施策の方向性 多様な働き方・暮らし方の実現
取組み 多様な交流・かかわりの創出

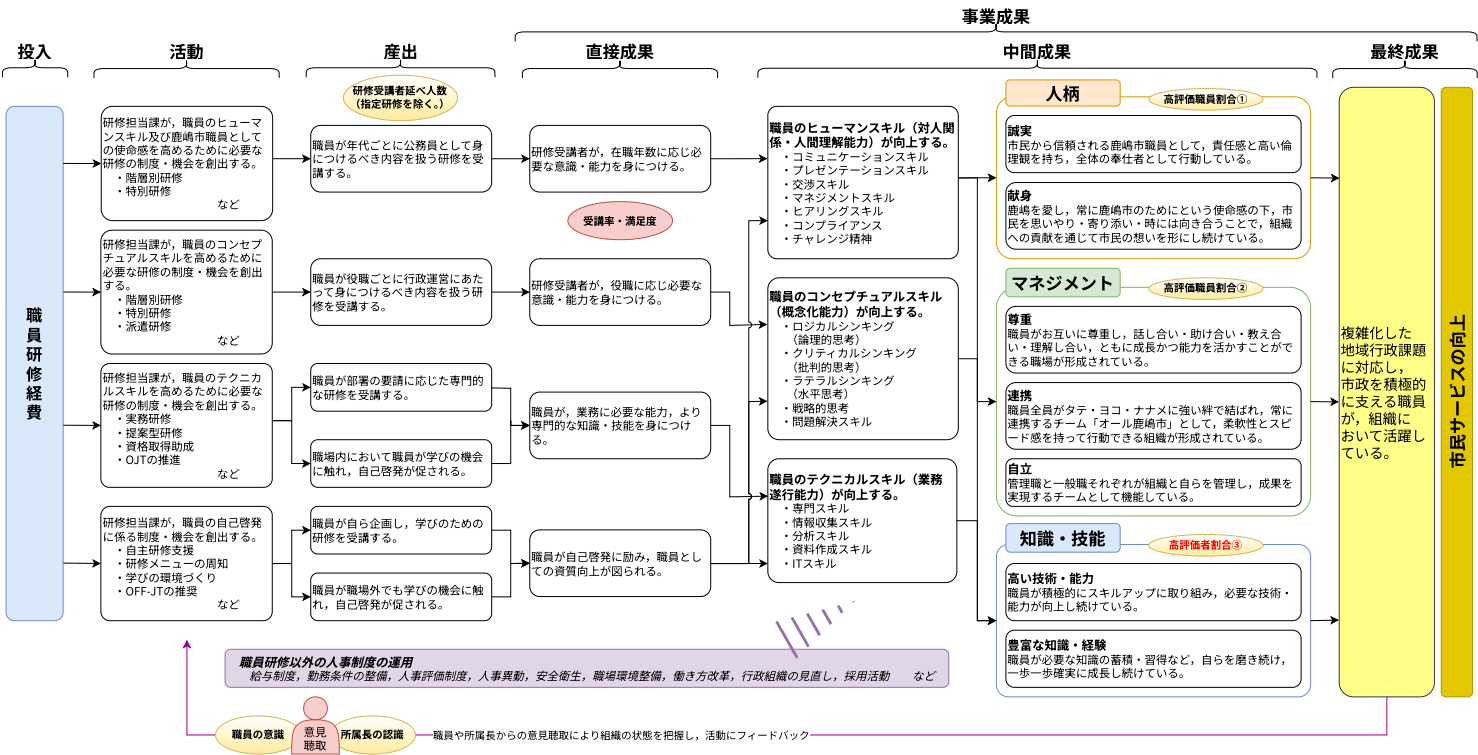


指標名	2021年度末	2023年度末	目標値	指標
人口の社会増数	-155人／年	1人／年	110人／年 (2031年度末)	施策指標
S N S等フォロワー数	40,000人	56,385人	60,000人 (2026年度末)	KPI（事業指標）
各種SNS（LINE、インスタ、フェイスブック、X）閲覧数			5,500,000件／年 (2026年度末)	モニタリング指標①
各種SNS（LINE、インスタ、フェイスブック、X）情報発信回数			800回／年 (2026年度末)	モニタリング指標②

施策5-2 スマートで持続可能なまちをつくる
 施策の方向性 (1) 持続可能な財政運営
 取組 ②事業の選択と集中による財政運営



指標				
現状値 → 目標値		現状値 2023年度末	目標値	2022年度 全国平均 (類団平均, 県内平均)
施策指標 (目標年度：2031年度)	将来負担比率	39.7%	80%	8.8% (12.7%, 22.4%)
	実質公債費比率	6.5%	7.3%	5.5% (6.6%, 6.4%)
事業指標 (目標年度：2026年度)	地方債の残高	160.9億円	180億円	一億円 (299.7億円, 260.6億円)
モニタリング指標 (目標年度：2026年度)	基金残高 (財調, 減債, 特目)	27.7億円	38億円	一億円 (108.0億円, 80.2億円)
	財政調整基金残高	17.7億円	28億円	一億円 (43.5億円, 34.2億円)
	経常収支比率	92.5%	86.2%	92.2% (91.0%, 91.6%)
	実質収支比率	4.7%	3～5%	3%未満：財政がひっ迫 5%以上：慎重すぎる財政運営



現 状 値 ⇒ 目 標 値		指 標	
現 状 値 ⇒ 目 標 値		現 状 値：2025年度	目 標 値
KPI	指定研修における受講率・研修内容に満足した受講者割合	受講率：91.0%（453人受講／498人指定） 満足度：82.6%	受講率：100% 満足度：100%
モニタリング	研修受講者延べ人数（指定研修を除く。）	41人	190人 （一般職員の半数以上が希望する研修を受講している組織を目指す）
モニタリング	高評価職員割合①（関連評価項目における評価の結果が優れている（期待されている水準より高い）職員の割合）	「人柄」関連評価項目：40.8%（被評価者338人中138人） ※プロセス評価における関連評価項目は次ページ参照	50%以上
モニタリング	高評価職員割合②（関連評価項目における評価の結果が優れている（期待されている水準より高い）職員の割合）	「マネジメント」関連評価項目：29.6%（被評価者338人中100人） ※プロセス評価における関連評価項目は次ページ参照	30%以上
モニタリング	高評価職員割合③（関連評価項目における評価の結果が優れている（期待されている水準より高い）職員の割合）	「知識・技能」関連評価項目：33.7%（被評価者338人中114人） ※プロセス評価における関連評価項目は次ページ参照	50%以上

「高評価職員割合」における関連評価項目		
●人柄		
職階	評価項目	備考
一般職	市民満足志向	「市民に寄り添い、想いを形にする」に直接対応
	規律・協調志向	「全体の奉仕者」と「組織の一員としての責任感」に対応
補佐・係長級	市民満足志向	「市民に寄り添い、想いを形にする」に直接対応
	規律・協調志向	「全体の奉仕者」と「組織の一員としての責任感」に対応
管理職	責任行動力	「責任感と倫理観を持ち行動」に直結
	法令遵守	「高い倫理観」の制度的担保
●マネジメント		
職階	評価項目	備考
一般職	コミュニケーション力	「尊重・理解し合う職場」に直結
	自己管理力	「自立（自らを管理し成果を出す）」に対応
補佐・係長級	業務調整力	「連携（タテ・ヨコ・ナナメ）」の中心機能
	指導・育成力	「尊重し、教え合い、ともに成長」に直接対応
管理職	リーダーシップ統率力	「組織を束ね、方向づける」に直結
	人材育成・活用力	「能力を活かす職場形成」に直結
●知識・技能		
職階	評価項目	備考
一般職	自己啓発	「スキルアップに取り組み」に対応
	業務理解・判断力	「必要な知識を蓄積」に対応
補佐・係長級	専門知識・情報活用力	「豊富な知識・経験」に直結
	状況判断力	「高い技術・能力」「豊富な知識・経験」に対応
管理職	専門知識・情報活用力	「豊富な知識・経験」に直結
	総合判断力	「高い技術・能力」「豊富な知識・経験」に対応

指定研修を除く主な研修

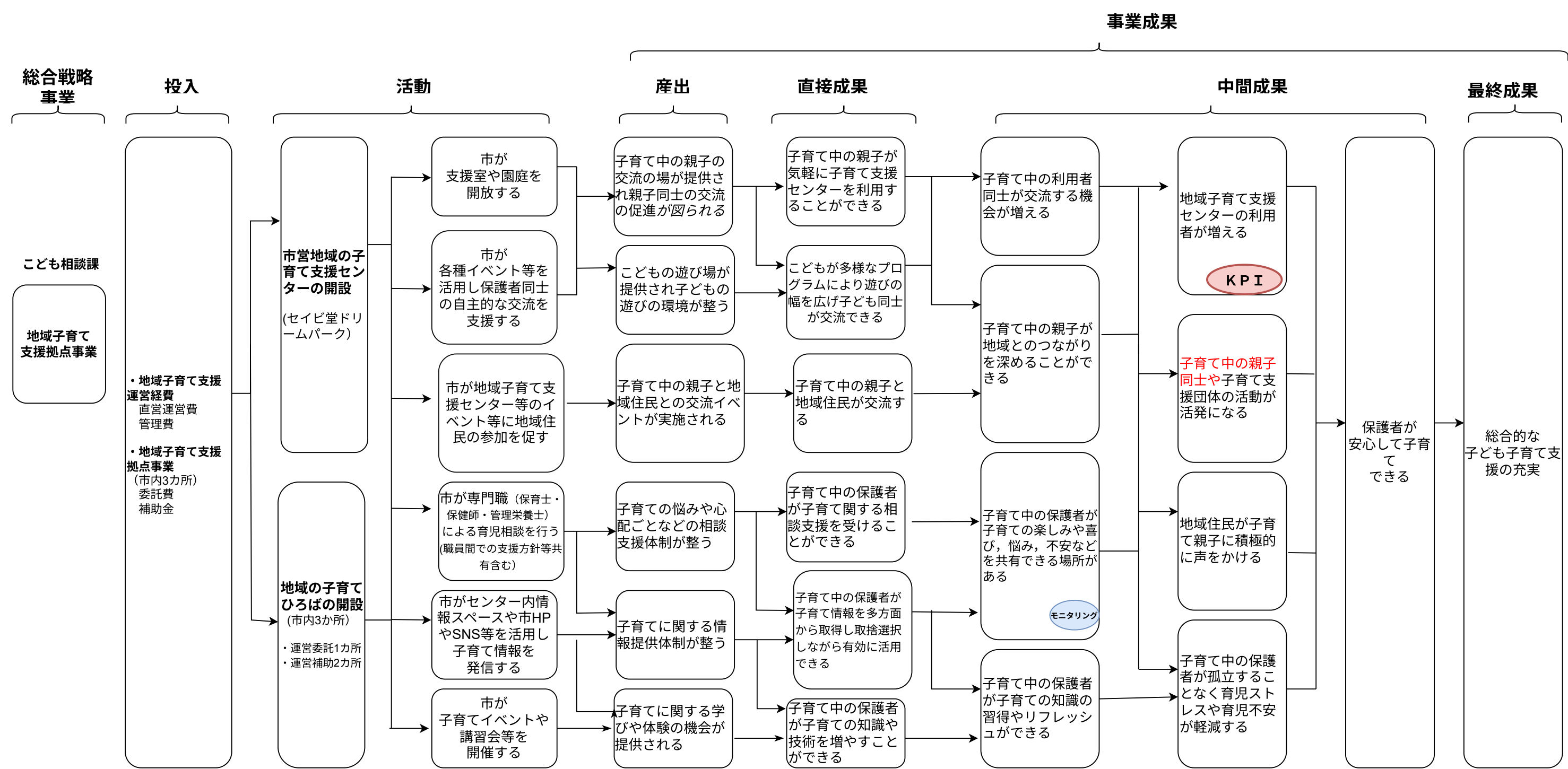
日本経営協会（NOMA）研修

- ・新任担当者のための公共用地取得実務の基礎
- ・自治体職員のための契約事務入門
- ・土地の評価と課税実務
- ・家屋評価実務「建築設備の評価」
- ・議会事務局職員のための基本実務講座
- ・情報公開制度の基礎知識と実務対応
- など

その他の団体研修（過去実績から抜粋）

- ・刈払機取扱作業者安全衛生教育（株式会社 日立建機教習センター、林災協茨城県支部）
- ・DTPセミナー、フォトショップセミナーなど（公益社団法人 日本広報協会）
- ・個人住民税課税事務入門研修会など（一般社団法人 よんなな会）
- ・土地評価実務研修など（一般社団法人 資産評価システム研究センター）
- ・MIA固定資産評価全国実務研修会（一般社団法人 茨城県不動産鑑定士協会）
- ・相談支援従事者（初任者）研修（一般社団法人 茨城県心身障害者福祉協議会）
- ・発達障害研修（子ども・基礎編）（社会福祉法人 茨城県社会福祉協議会）
- ・クレーム電話応対講座オンラインセミナーなど（公益社団法人 日本電信電話ユーザ協会茨城支部）

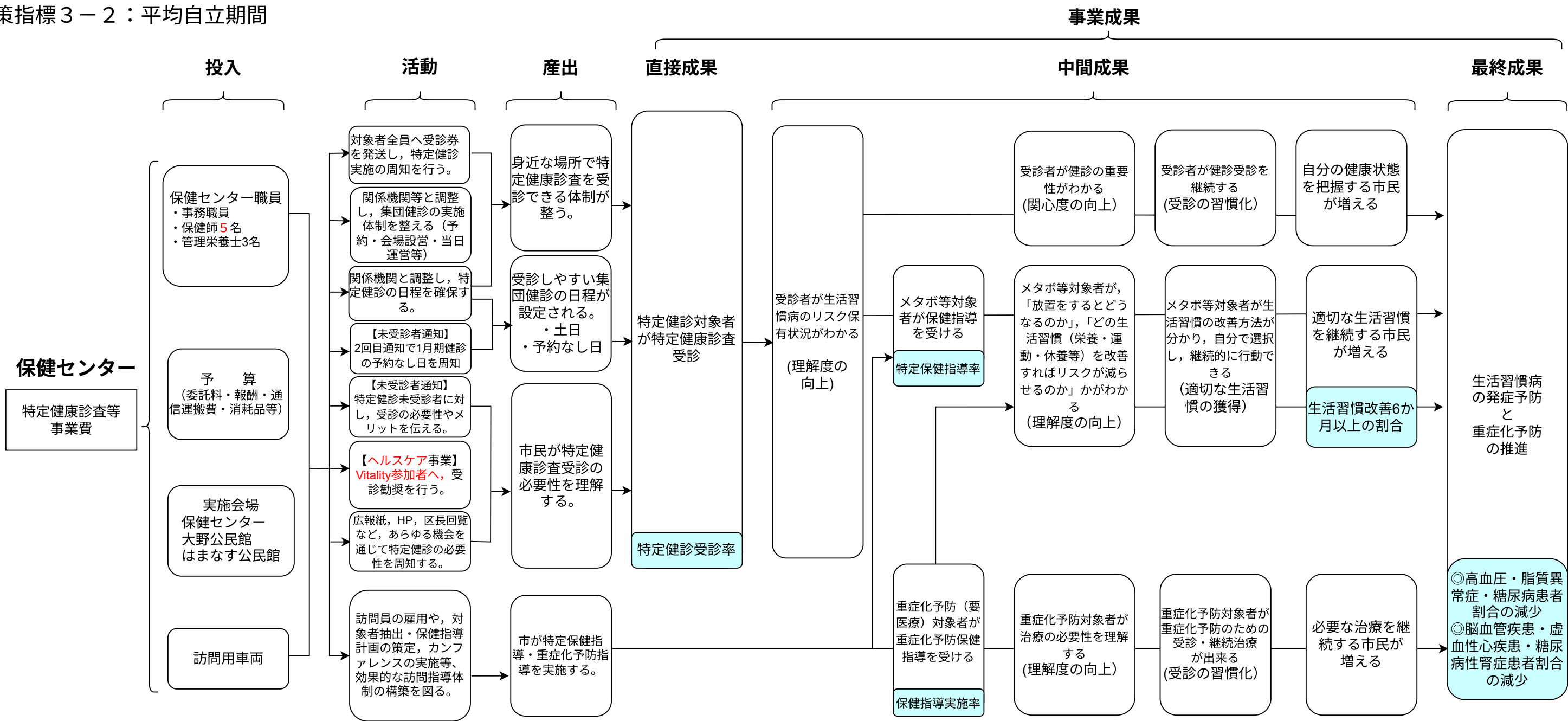
戦略1 子育て支援（1）まちぐるみで子育てを応援する



現状値⇒目標値	指 標	目 標 値	2021年度末	2023年度末	2024年度末	2025年度末	
施策目標 (目標年度:2031年度)	出 生 数 率	425人/年 6.75%/年	450人/年 6.75%/年	356人/年 5.48%/年	314人/年 4.86%/年	307人/年 4.83%/年	KPI
事業指標 (目標年度：2026年度)	地域子育て支援拠点の利用割合（未就学児童の利用登録割合）	80%/年	9.2%/年	62.8%/年	55.4%/年	51.1%/年	モニタリング
モニタリング指標	地域子育て支援センターを利用している保護者の満足度（地域子育て支援センター利用者アンケートにおける10点満点中の満足度）	8点以上の割合が80%	-	-	90%	89.6%	

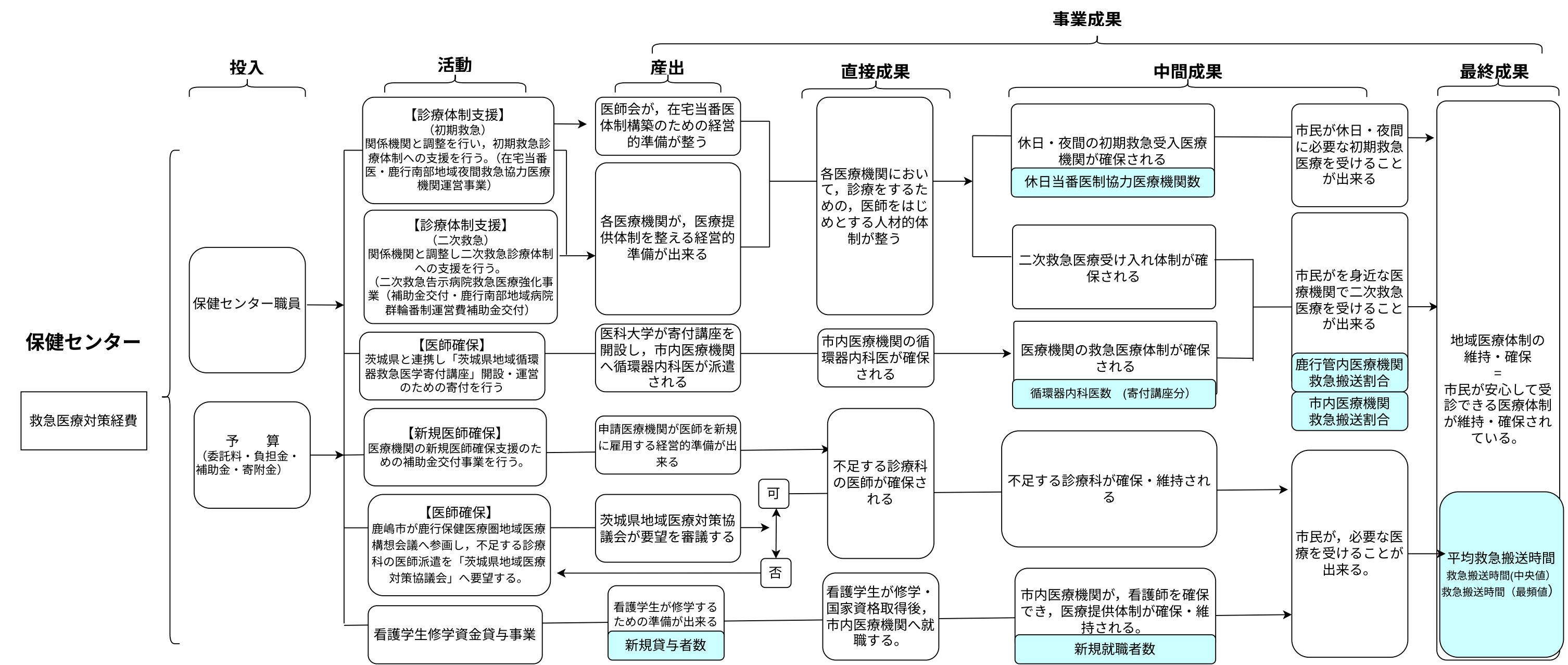
戦略3 健康づくり支援 (2) 予防と適切な医療により心身ともに健康に過ごす

施策指標3-2：平均自立期間



指標			
現状値 → 目標値		現状値：2021年度末	目標値
施策指標 (目標年度：2031年度)	平均自立期間	男性：79.6年 女性：83.7年	男性：80.0年 女性：84.0年
KPI (目標年度：2026年度)	特定健康診査受診率	32.0％／年	60.0％／年
	特定保健指導の実施率	52.0％／年	60.0％／年
モニタリング指標 (目標年度：2026年度)	生活習慣改善取組済 (6か月以上) の割合	18.7％	増加
モニタリング指標 (目標年度：2026年度)	高血圧・脂質異常症・糖尿病 患者割合の減少 (国保)	高血圧 (20.3％)・脂質異常症 (15.9％)・糖 尿病 (9.8％)	減少
モニタリング指標 (目標年度：2026年度)	脳血管疾患・虚血性心疾患・ 糖尿病性腎症患者割合の減少 (国保)	脳血管疾患 (5.11％)・虚血性心疾患 (5.16％)・糖尿病性腎症 (0.03％)	減少

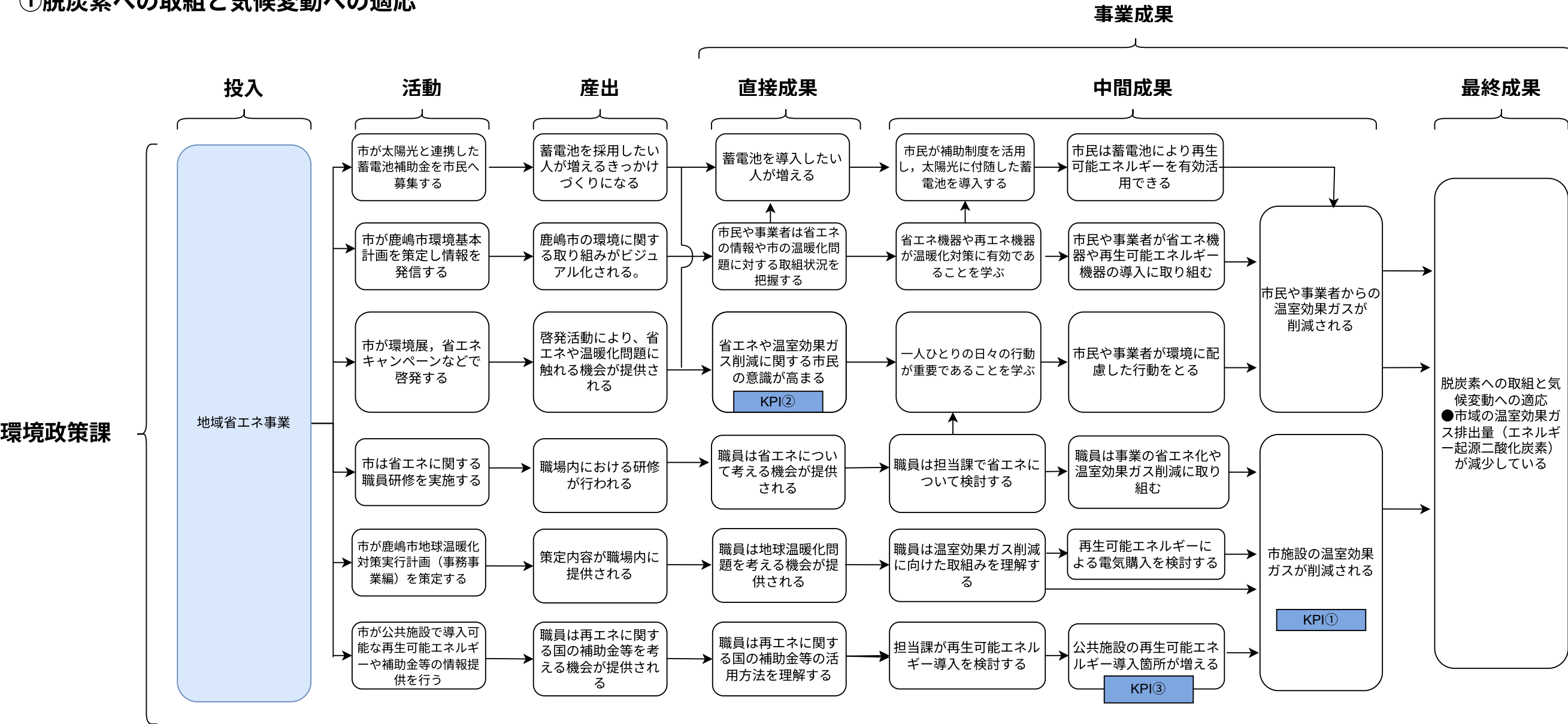
戦略3 健康づくり支援 （2）予防と適切な医療により心身ともに健康に過ごす



指標			
現状値 → 目標値		現状値：2021年度末	目標値
政策指標（目標年度：2031年度）	平均自立期間	男性：79.6歳 女性：83.7歳	男性：80.0歳 女性：84.0歳
モニタリング指標（目標年度：2031年度）	休日当番医協力医療機関数	18 医療機関	現状値維持
施策指標（目標年度：2031年度）	循環器内科医確保数（寄付講座分）	0人	2人（派遣枠の維持）
モニタリング指標（目標年度：2031年度）	市内医療機関 搬送割合	51.8%	現状値より増加
モニタリング指標（目標年度：2031年度）	鹿行管内医療機関 搬送割合	82%	現状値より増加
モニタリング指標（目標年度：2031年度）	平均救急搬送時間	49.4分	43.3分（令和元年度県平均値）
モニタリング指標（目標年度：2031年度）	新規修学資金貸与者数（R5～毎年度）	0人	3人
モニタリング指標（目標年度：2031年度）	新規市内医療機関就職者数（R9年度～毎年度）	0人	3人

備 考
地域医療については、茨城県の責任のもと「保健医療計画」「医師確保計画」等により推進されている。 その中で救急医療について、保健医療計画では「初期救急」は「市町村単位での実施」と明記され、現在、市町村の主導のもと「在宅当番医制」（単独）や「夜間救急医療協力医療機関運営事業」（鹿行3市）にて整備を行っている。 また二次救急については、県の対応と併せ、対応する市町村もあり、当市を含めた鹿行南部地域においては「病院群輪番制」（鹿行南部三市）、あるいは「二次救急病院運営費補助金」（単独）にて医療機関支援を行っている。 加えて医師不足・医師偏在是正について茨城県は「地域医療対策協議会」を開催し、医育大学大学からの医師不足地域への医師派遣の協議を行っている。 現在、県（潮来保健所）は鹿行地域（二次医療圏）の医療提供体制や医師偏在について、主要医療機関や市町村、関係団体代表等を一堂に集めた「地域医療構想調整会議」を開催している。会議では病院機能の分化・連携推進を含めた、医療提供体制を実現するための施策の方向性や医師の派遣等について協議し「地域医療対策協議会」への要望を行っている。 総合計画における基本施策「スポーツに親しみ健康に生きる」の施策の方向性としての「地域医療体制の充実とヘルスケアの推進」は、「地域医療体制の維持・確保」だけではなく「生活習慣病の発症予防と重症化予防の推進」や「感染症対策の推進」「次世代ヘルスケアへの取組推進」等、重層的に推進を行っていく必要である。

施策4-3 豊かな鹿嶋の海や緑を未来へつなぐ
施策の方向性 地球環境に配慮した持続可能なまちづくり
取組 ①脱炭素への取組と気候変動への適応



温室効果ガス削減目標				
	内 容	現 状 (2021年度)	目標値 (2026年度)	目標値 (2031年度)
総合計画	施策目標：市域の温室効果ガス排出量 (エネルギー起源二酸化炭素)	- 1,138.4千t	***	△50% 1,126千 t
総合戦略	事業指標：市施設の温室効果ガス排出量 (エネルギー起源二酸化炭素)	5,432.2t	△20% 4,371.7t	***

※施策目標を当初△26%（1,667千t）に設定していたが、令和3年度の国の基準見直しに伴い2013年度（2,253千t）比△50%（1,126千t）に再設定

モニタリング指標		
内容	目標値	備 考
市施設の温室効果ガスの削減（KPI①）	△4%/年	2021年度比
省エネや温室効果ガス削減に関する市民の意識調査（KPI②）	500件	毎年度実施
再生可能エネルギー導入箇所数（KPI③）	23箇所	令和7年度まで 21箇所（令和3年度）

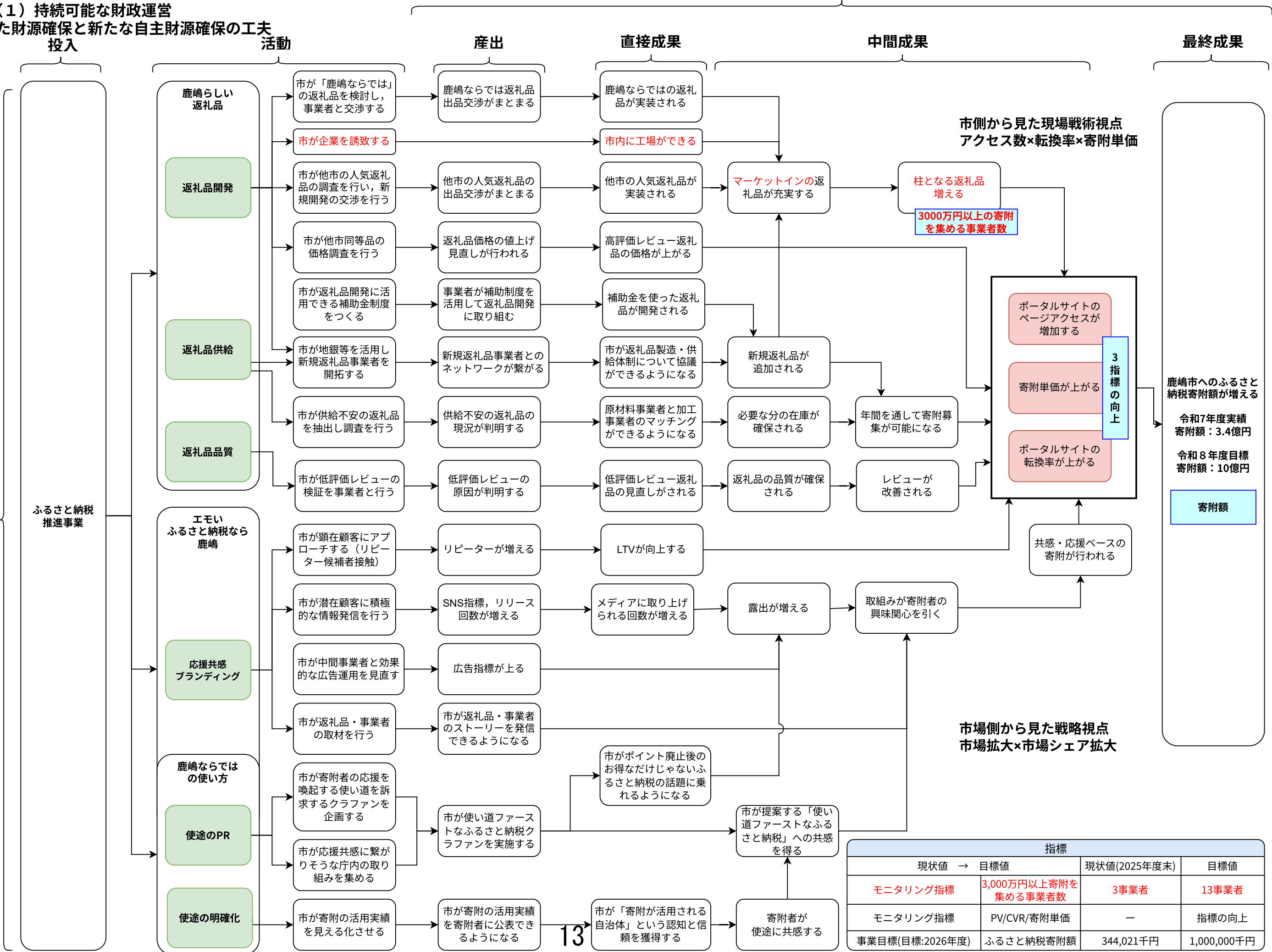
施策5-2 スマートで持続可能なまちをつくる

施策の方向性 (1) 持続可能な財政運営

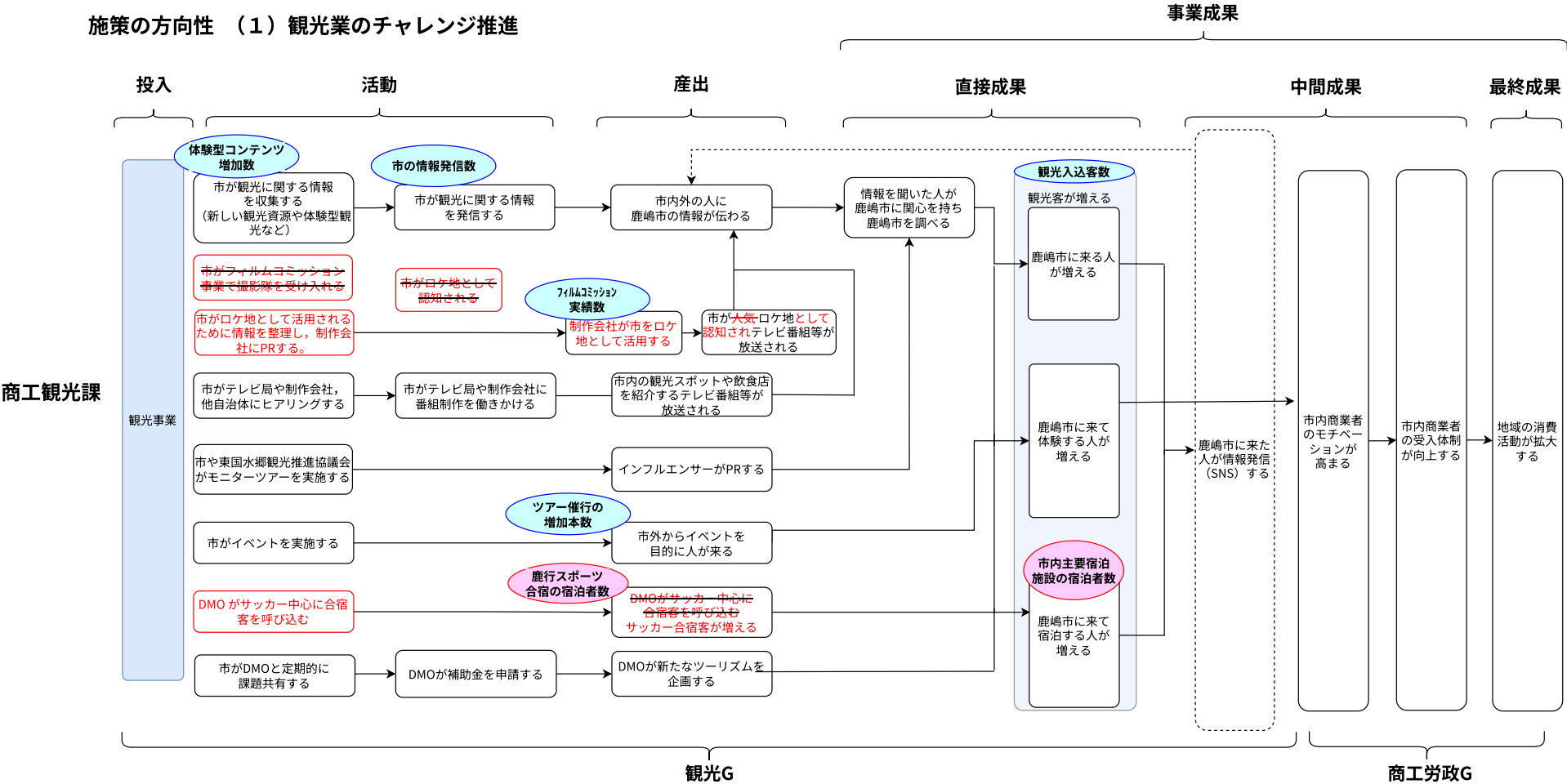
取組 ③安定した財源確保と新たな自主財源確保の工夫

事業成果

地域ブランド
戦略室

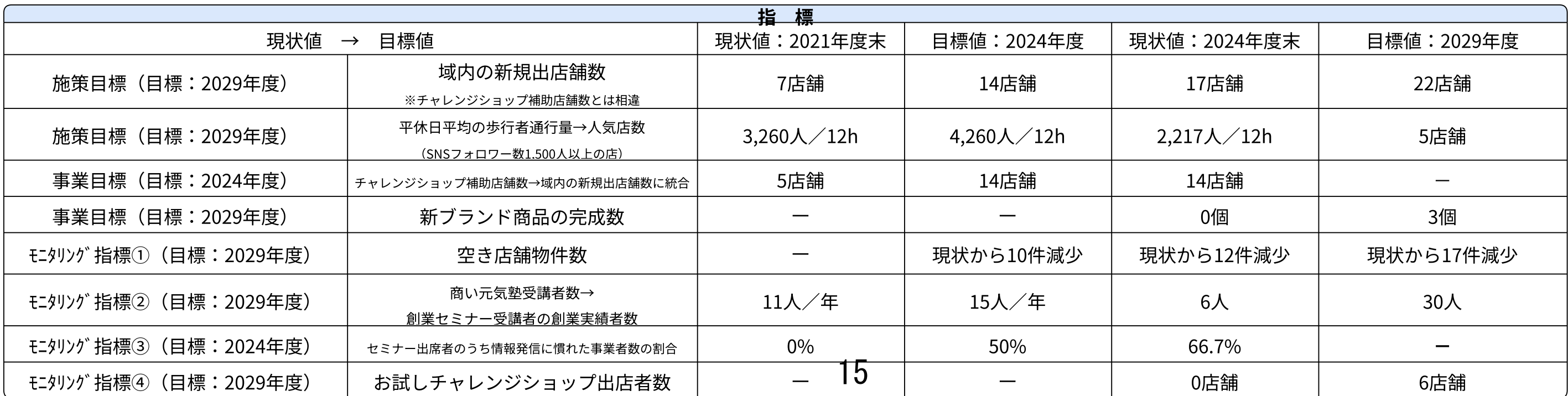


施策4-1 既存産業のチャレンジを応援する
 施策の方向性（1）観光業のチャレンジ推進

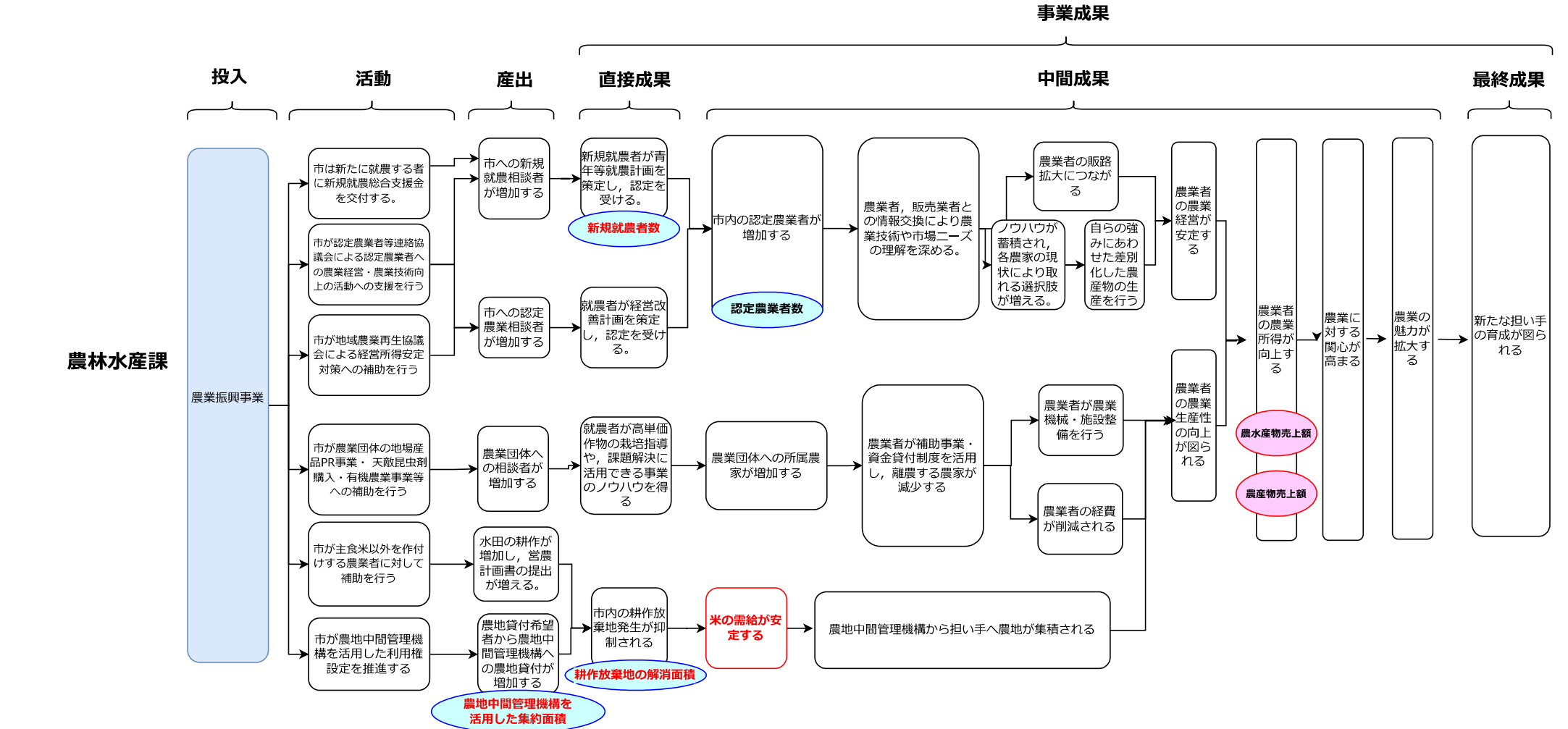


指標			
現状値 → 目標値		現状値：2021年度末	目標値
施策指標（目標：2031年度）	市内主要宿泊施設の宿泊者数	40,000人／年	120,000人／年
事業目標（目標：2026年度）	鹿行スポーツ合宿の宿泊者数	2,500人／年	8,000人／年
モニタリング指標① （目標：2026年度）	ツアー催行の増加数 ※市営宮中地区駐車場の大型バス数でモニタリング	—	50台／年
モニタリング指標② （目標：2026年度）	体験型コンテンツ増加数	—	10件
モニタリング指標③ （目標：2026年度）	観光入込客数	2,498,550人／年	3,000,000人／年
モニタリング指標④ （目標：2026年度）	フィルムコミッション実績数	13件／年	30件／年
モニタリング指標⑤ （目標：2026年度）	市の情報発信数 ※市公式SNS発信数	23件／年	50件／年

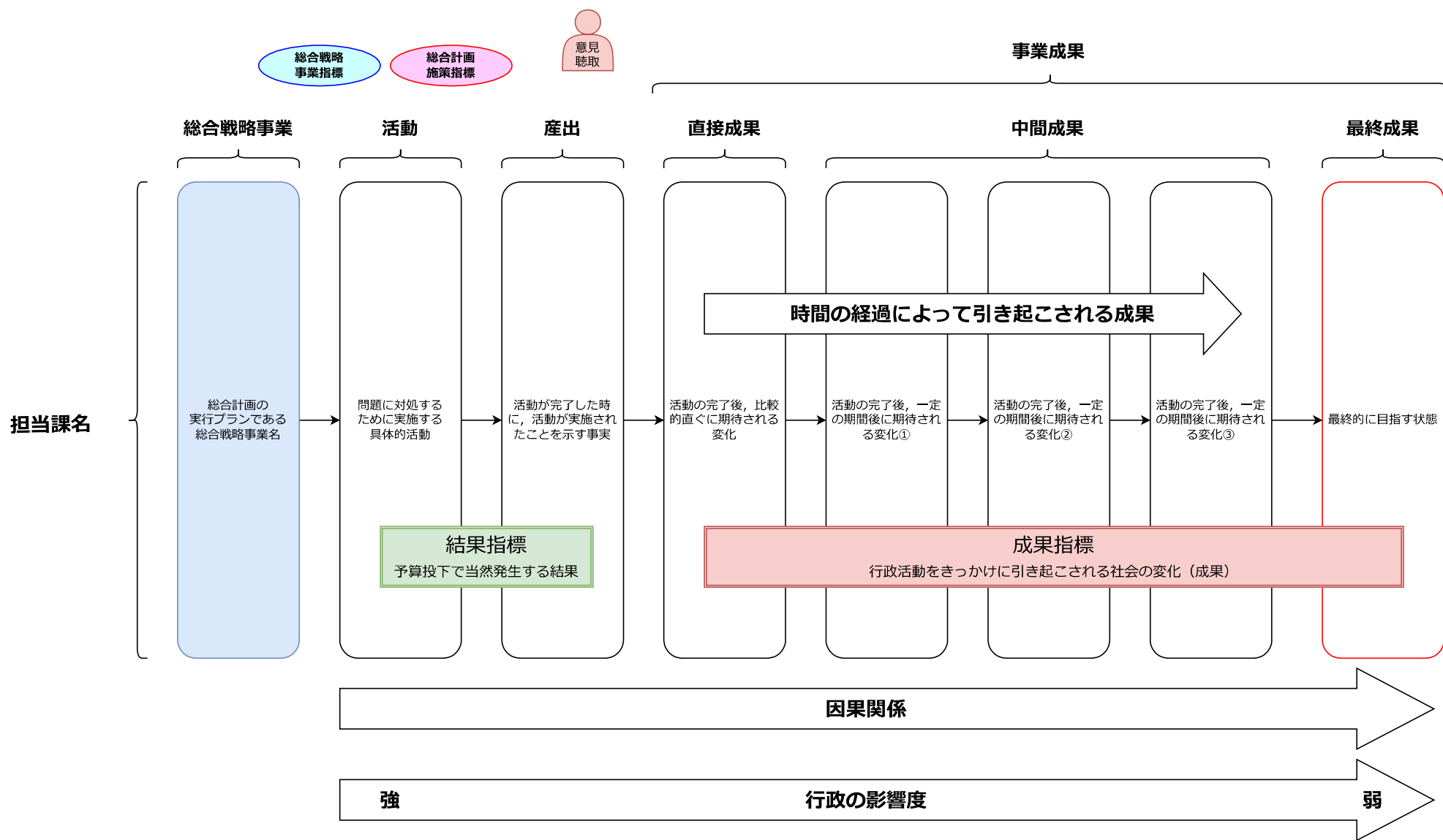
取組 ③起業・創業体支援体制の充実



施策4－1 既存産業のチャレンジを応援する
 施策の方向性 (2)農水産業のチャレンジ促進
 取組 ①新たな担い手の育成・支援



指標			
現状値 → 目標値		現状値（2025年度末）	目標値
施策指標（目標：2031年度）	農水産物売上額	3,074百万円／年	2,400百万円／年
事業指標（目標：2026年度）	認定農業者数	105人	141人
モニタリング指標（目標：2026年度）	農産物売上額	1,242百万円／年	1,450百万円／年
モニタリング指標（目標：）	新規就農者数		
モニタリング指標（目標：）	農地中間管理機構を活用した集約面積		
モニタリング指標（目標：）	耕作放棄地の解消面積		



政策形成能力の養成

現在の行為が将来に対してどのような結果や影響を及ぼしていくのかの検討（仮説の因果関係・ロードマップ・ストーリーの見える化）

適切な成果指標の導出

結果と成果を明確に区別し、どのタイミングで何をモニターすることが適切なのかを見極める

事業の有効性評価

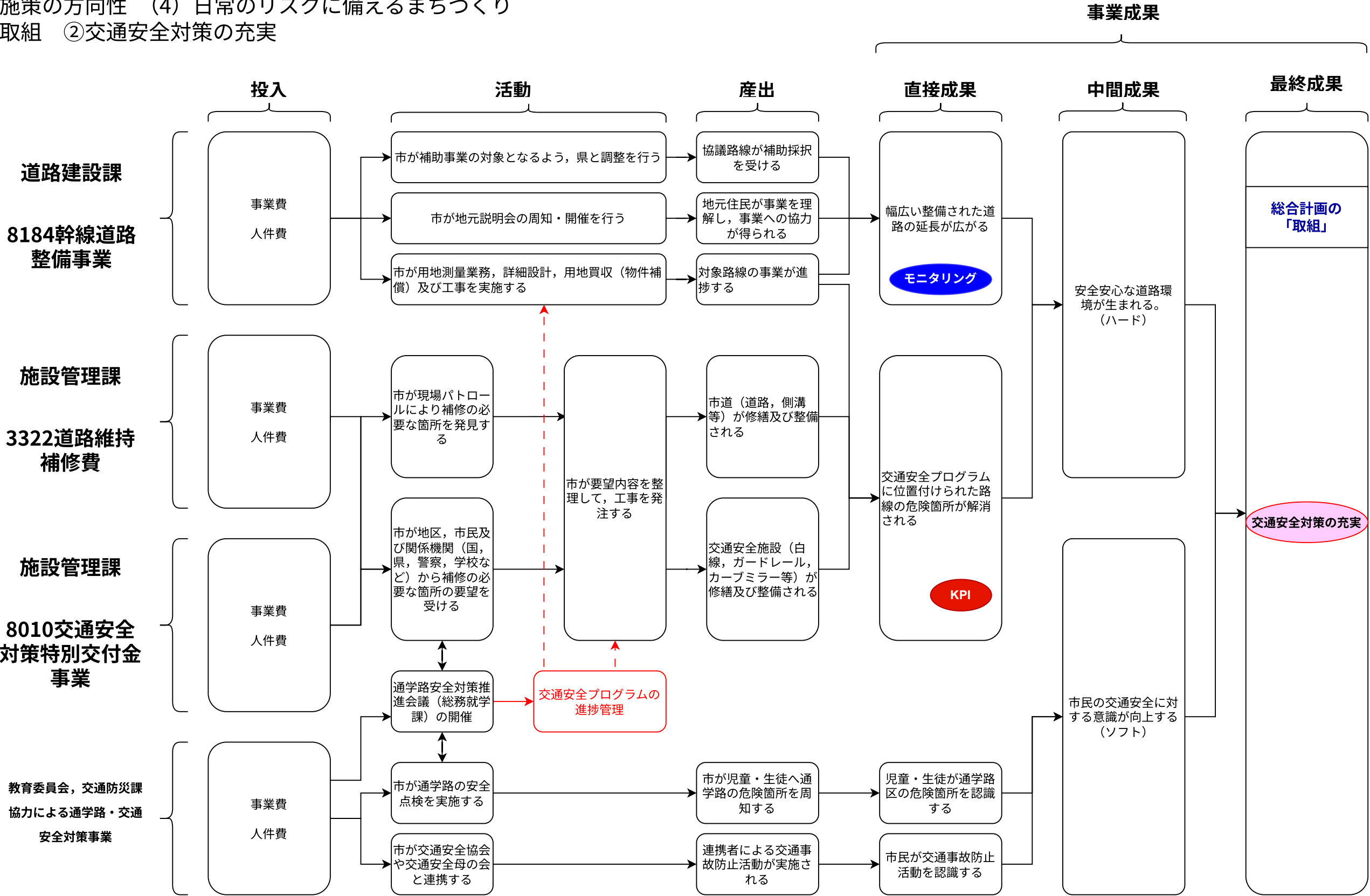
事業の実施前に、どのような成果が見込まれるかを検討し、事業の実施後に期待された成果が実際に得られたかを検証する

コミュニケーションツール

庁内だけではなく、様々なステークホルダーと情報交換し、共通認識を得て、進捗管理を行っていくツールとしての活用

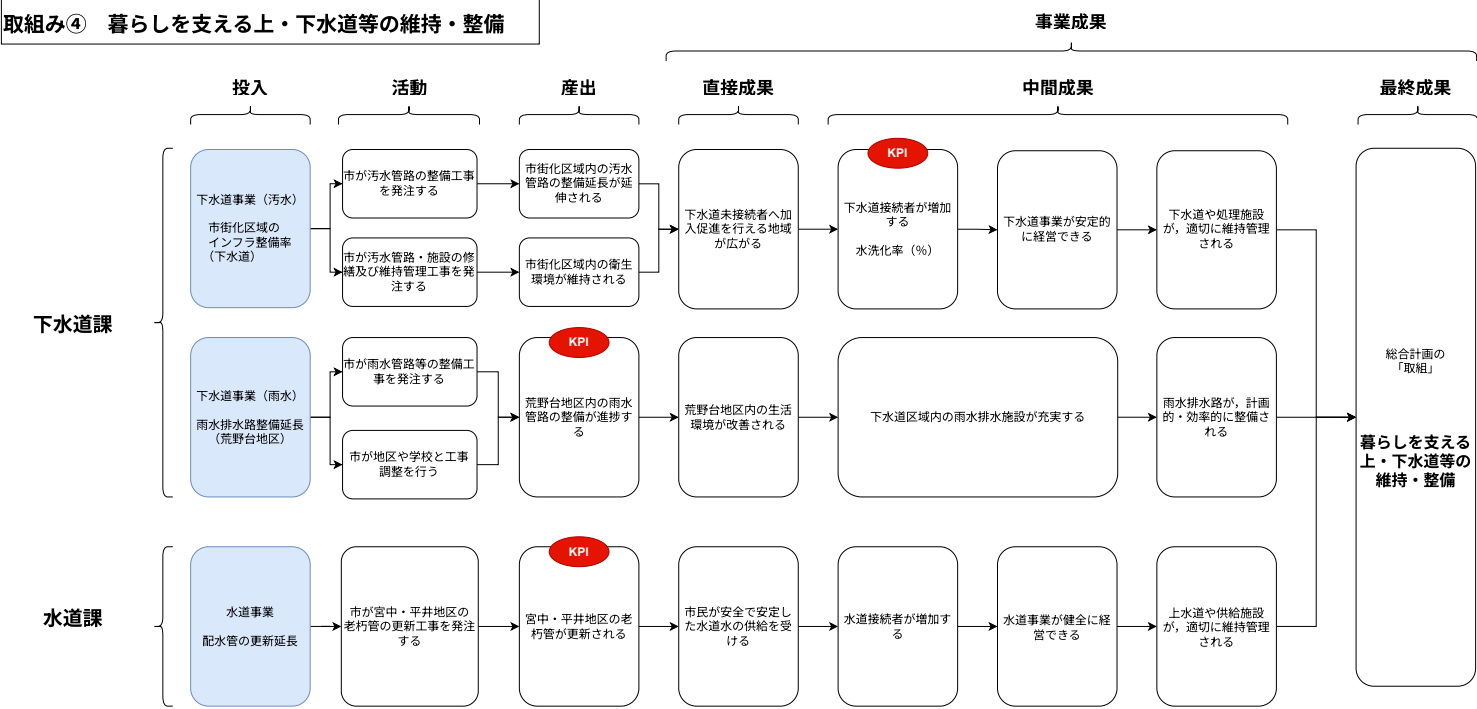
施策5-1 コンパクトで安全なまちをつくる

施策の方向性 (4) 日常のリスクに備えるまちづくり
取組 ②交通安全対策の充実



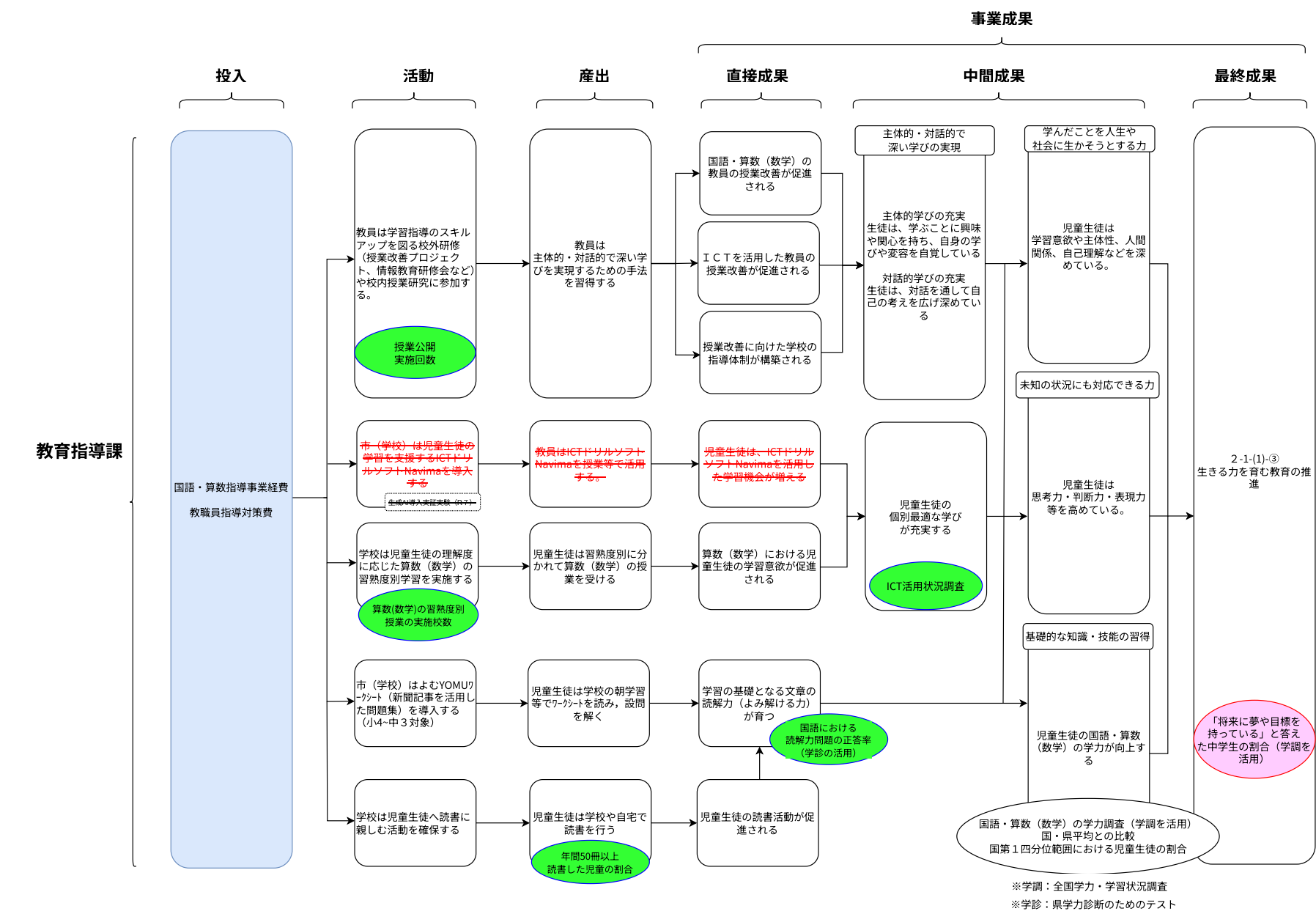
指標					
現状値 → 目標値		指標	2021年度末	現状値：2026年3月末	目標値
事業指標 (目標年度：2026年度)	交通安全プログラムに計画されている整備延長	KPI	8,000m	9,003m	9,000m
モニタリング指標 (目標年度：2026年度)	道路改良率	モニタリング	58.1%	54.7%	54.5%

施策5－1 コンパクトで安全なまちをつくる
 施策の方向性 (1) 最適化した土地利用・基盤づくり
 取組み④ 暮らしを支える上・下水道等の維持・整備



指標				
現状値 → 目標値		現状値：2021年度末	現状値：2025年度末	目標値
事業指標 (目標年度：2026年度)	市街化区域内のインフラ整備率（下水道）	90.5%	93.6%	91.5%
	雨水排水路整備延長（荒野台地区）	930m	1,035m	1,660m
	配水管の更新延長	4,443m	5,552m	6,010m

施策2－1 未来を担う人材「鹿嶋っ子」を育む
 施策の方向性 （1）たくましく柔軟な子どもを育む学校教育
 取組 ②学び高めあう学校教育の推進

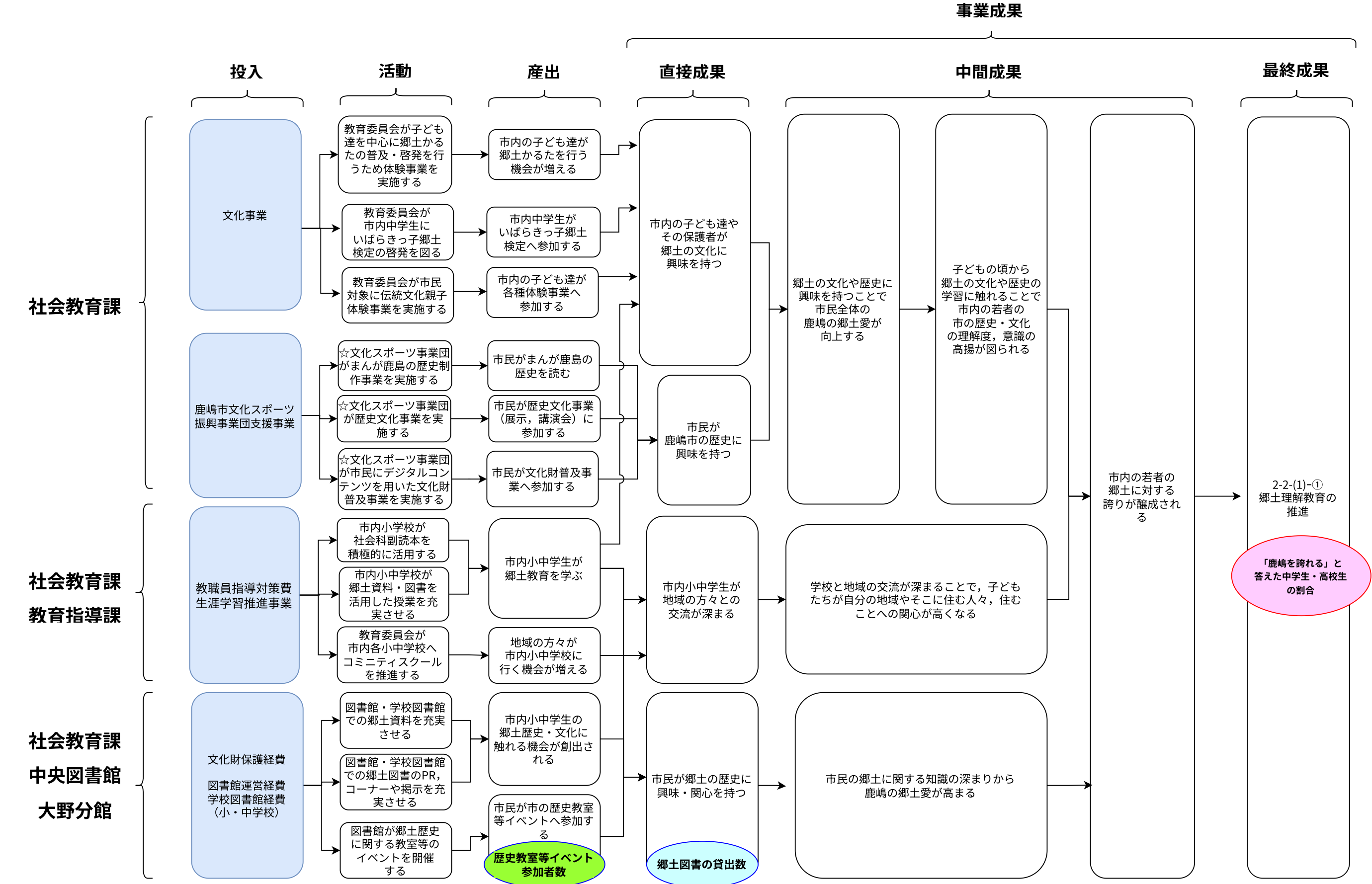


指標				
現状値 → 目標値		現状値：2024年度末	2025年度末	目標値
施策指標 （目標年度：2031年度）	学調において「将来に夢や目標を持っている」と答えた中学生の割合	65%	73%	80%
事業指標 （目標年度：2026年度）	学校における教職員の授業公開実施回数	260回／年	450回／年	520回／年
	学調における国語・算数（数学）の結果 国県平均との比較（対象：小6及び中3） ※（ ）は県比較	国 県 小6 国語 －（－） 算数 －（－） 中3 国語 －（－） 数学 －（－） 8項目、全て国県平均以下	（R7.4結果）国 県 小6 国語 ＋（±） 算数 －（－） 中3 国語 －（－） 数学 －（－） 8項目中、1項目、国県平均越え	国 県 小6 国語 ＋（＋） 算数 ＋（＋） 中3 国語 ＋（＋） 数学 ＋（＋） 8項目中、8項目、国県平均越え
	ICT状況調査における活用状況	国平均超え	国平均超え	国平均超え
	算数（数学）の習熟度別授業の実施校数	—	—	小学校：12校 中学校：5校
	年間50冊以上読書した児童（小1～6）の割合	—	—	80%
	学調における国語・算数（数学）国第1四分位までに相当する児童生徒の割合	—	—	（－）
	学診・国語における読解力問題の正答率	—	—	（＋）

施策2－2 豊かな鹿嶋文化を共に創り育む

施策の方向性 （1）シビックプライドを育てる「郷育」

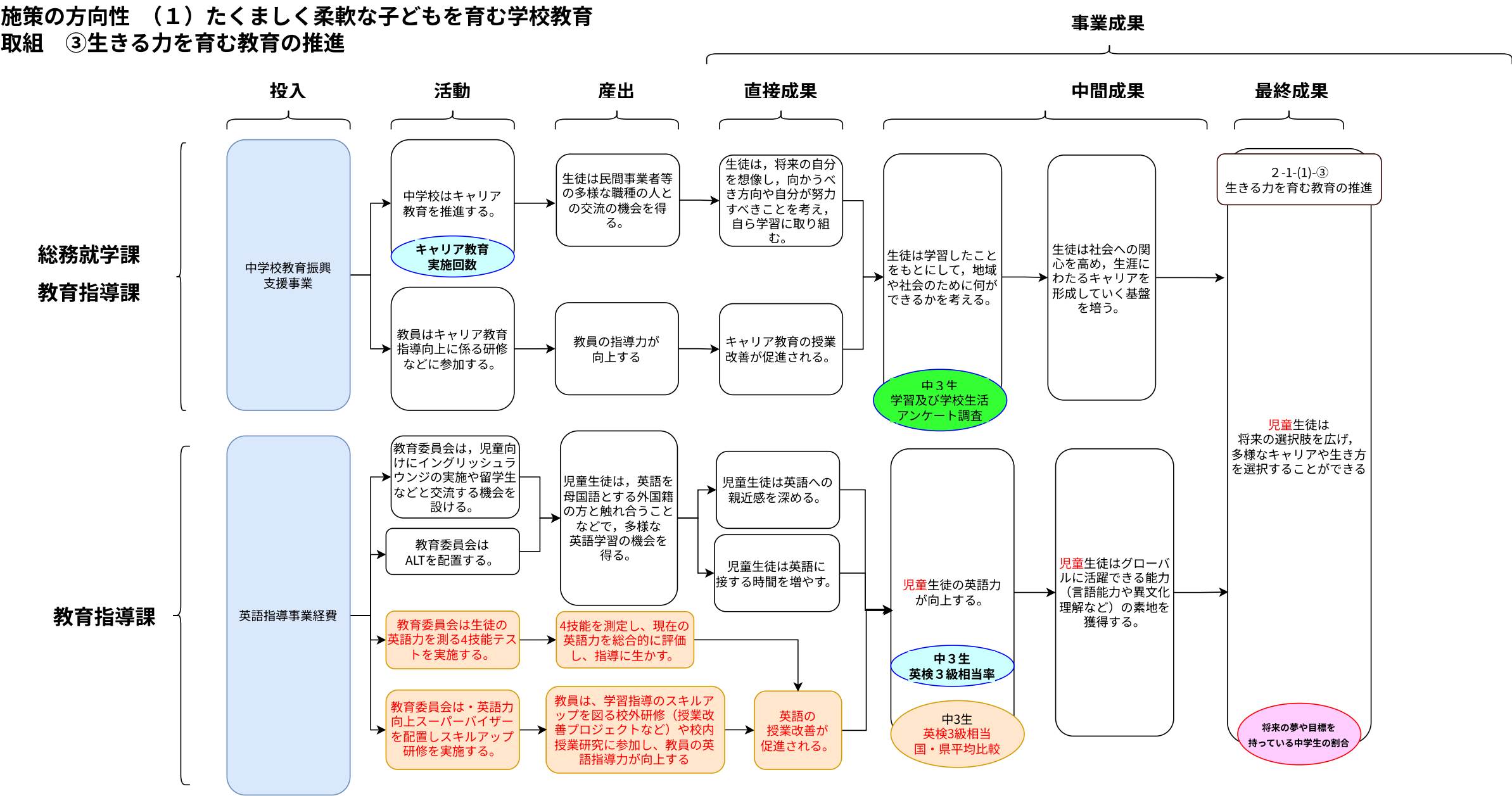
取組 ①郷土理解教育の促進



指標				
現状値 → 目標値		現状値：2024年度末	2025年度末	目標値
施策指標 (目標年度：2031年度)	「鹿嶋を誇れる」と答えた中学生・高校生の割合	53%	63%	70%
事業指標 (目標年度：2026年度)	郷土図書の貸出数	3,642冊／年	9,601冊／年	1,300冊／年
モニタリング指標 (目標年度：2026年度)	歴史教室等イベント参加者数	0人／年 2023年から実施予定	0人／年 2023年から実施予定	40人／年

施策2-1 未来を担う人材「鹿嶋っ子」を育む

施策の方向性 (1) たくましく柔軟な子どもを育む学校教育
取組 ③生きる力を育む教育の推進

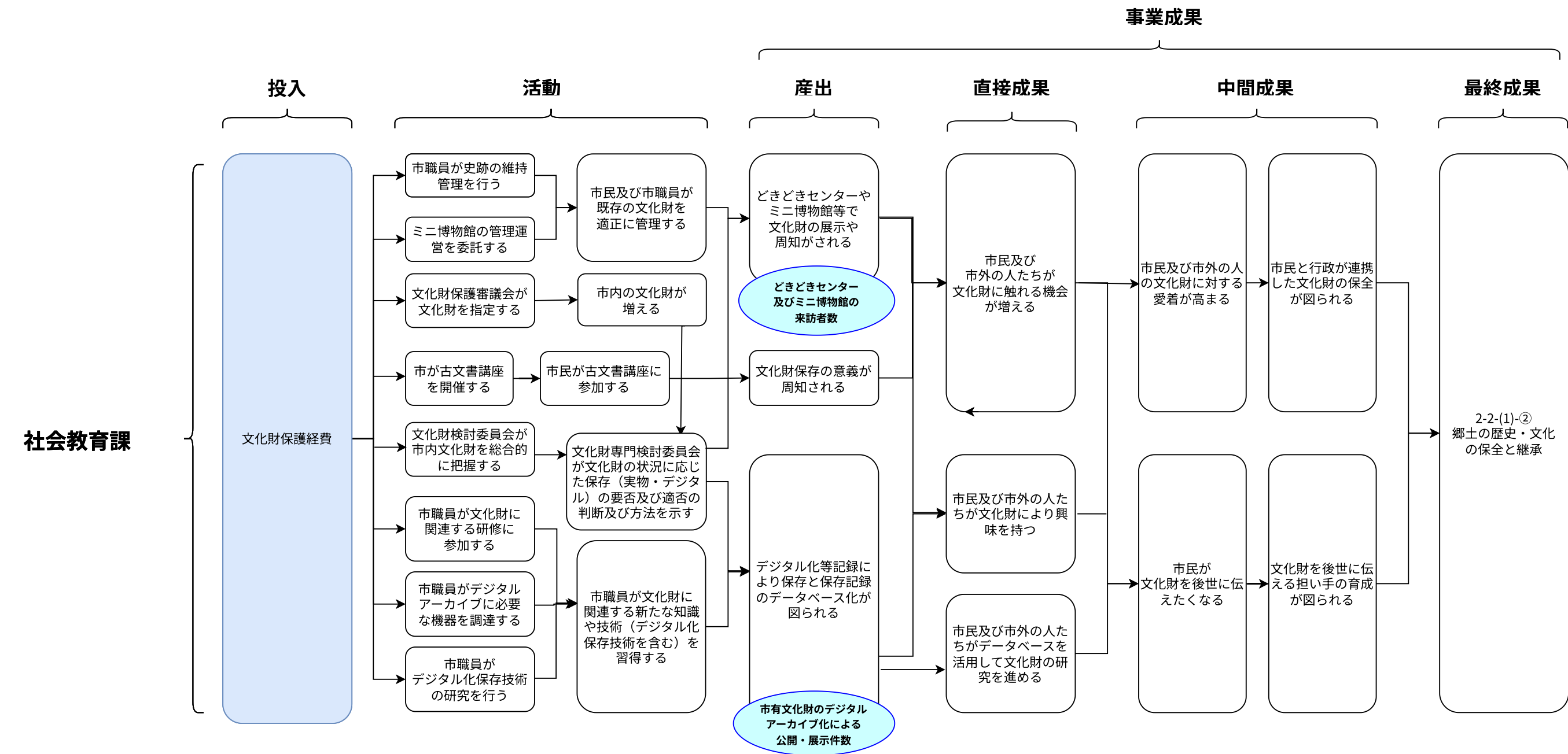


指標				
現状値 → 目標値		現状値：2024年度末	2025年度末	目標値
施策指標（目標年度：2031年度）	「将来の夢や目標を持っている」と答えた中学生の割合	65.3%	68.7% (R7.4結果)	80%
事業指標（目標年度：2026年度）	事業者（(株) 鹿島アントラーズFCなど）と連携したキャリア教育実施回数	153回／年	70回／年	70回／年
	中学3年生英検3級相当率	55.4%	57%	65%
モニタリング指標（目標年度：2031年度）	中3生「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか」と回答した割合	77.7%	75.0% (R7.4結果)	80%
	中3生英検3級相当国平均・県平均比較	—	—	国（+）県（+）

施策 2－2 豊かな鹿嶋文化を共に創り育む

施策の方向性 （1）シビックプライドを育てる「郷育」

取組 ②郷土の歴史・文化の保全と継承



指標				
現状値 → 目標値		現状値：2022年度末	2025年度末	目標値
指標 (目標年度：2028年度末)	どきどきセンター及びミニ博物館の来訪者数	8,082人	8,860人	10,000人
指標 (目標年度：2026年度末)	市有文化財のデジタルアーカイブ化による公開・展示件数	0件	0件	3件

施策3-1 スポーツに親しみ健康を維持する

施策の方向性 (1) スポーツ活動・交流の推進
取組 ① ライフステージに応じたスポーツ活動の推進



指標				
現状値 → 目標値		現状値：2021年度末	2022年度末	目標値
施策指標 (目標年度：2031年度)	成人の週1回以上の スポーツ実施率	未計測	43%／年	65%／年
事業指標 (目標年度：2026年度)	市立スポーツ施設利用者数	210,781人／年	309,570人／年	400,000人／年
モニタリング指標 (目標年度：2026年度)	みんなのスポーツフェスタ参加者 平均人数	未計測	24 276人／回	350人／回